

<東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞>

私は税金に助けられている

白河市立東中学校

3年 水野谷 咲英

「消費税って何であるの？」と、疑問を口にした私に、姉は「税がなかったら学校の教科書とかも自分で買うようになるんだよ。」と説明しました。母に聞くと、私達姉弟の教科書類は勿論、怪我や病気になった際の治療費も税金のお陰で負担が小さくなっていることを教えてくれました。

私は今までに、二度、大きな手術を受けたことがあります。一度目は小学校低学年の時のことです。小さい頃から鼻と耳が悪かった私は、物心ついたときから病院に通っていました。その当時は気にしていませんでしたが、このとき既に、私は税金に助けられていたのです。長い通院生活と共に行われる治療、その治療費は、税金が無ければ、全額我が家で払うことになっていました。また、手術の際の手術費、入院費はどれだけかかったことでしょうか。実は姉も同じような手術を受けているため、かかった費用は、実質二倍ということになります。そして中学3年の夏に、私はもう一度、手術を受けることになりました。4年以上の通院を経た上での手術でした。以前と比べて入院期間も短かったのですが、やはりお金はかかります。一度経験している身として不安はありましたが、今回も税金に助けられたと母は言います。皆が一生懸命働いて納めた税金に二度も助けられ、私は感謝の気持ちで胸が熱くなりました。今まで、通院しながら治療を続けていても、いつもと変わらない日常を送っていたのも、税金の支えがあったからなのです。一度目の入院の際、同じ病室の子供達が病魔と闘いながらも笑顔で接してくれたことを今もまだ覚えています。彼らのその

笑顔が、高額な費用を理由に失われるようなことはあってはならないと思います。税金に支えられていることを理解し、諦めずに闘病することも大切です。

私達は日頃から、税に対してマイナスのイメージを持ちながら生きています。人のためになると分かってはいても、その支出はどうしてもマイナスになってしまうのです。ですが、私と姉、姉妹で助けられた私達家族は勿論のこと、教科書の購入や生活の安全など、日々助けられている子供達や地域の方々も、税金に対し、明るくプラスなイメージを持つことが大切だと思います。

税の仕組みを理解し、税金の適切な使い道を知った上で、税の大切さについて考え、意見できるようになりたいと思います。その意味を理解した上で、しっかりと税金を納められるような大人になりたいと思いました。